

# ようこそ

みんないっしょの  
お念仏のご縁です



(上)初参式にお参りの皆さん  
世代を超えて  
仏の子みんなで  
にぎやかに記念撮影です



(左)お祝いのおもちと  
記念のお念珠を  
仏さまからいただきます

(5月17日)

第 34 号  
浄土真宗本願寺派  
円光寺  
〒870-0108  
大分市三佐3-15-18  
TEL.097-527-6916  
FAX.097-527-6949

## 子どもに連れられ初参り

円光寺では毎年五月の親鸞聖人の御誕生をお祝いする降誕会(こうたんえ)で「初参式(しよさんしき)」を行います。この世に命恵まれて初めてお寺にお参りするご縁です。今年(ことし)は5月17日(日)に十人のお子さんがお参りされました。家族有縁の方々も一緒に勤めをして、記念に紅白のお餅とお念珠をさしあげます。

初参式ではいつも「今日はお子さんの初参りですが、付き添いのお父さんお母さんの初参りでもあります」とお話をさせていただきます。

今は核家族でお父さんお母さんのお家にはお仏壇がありません。お家の中で手を合わすところがない、お念珠を使うこともないのです。

ちよつと前のお家は、三世代四世代の家族同居が当たり前でした。当時子どもだったおじいちゃんおばあちゃん、小さい頃おばあちゃんに手をひかれてお寺にお参りしたことを懐かしく話してくれます。そうしたご縁があつて今お寺にお参りができていることを本当に有難く喜ばれます。

子どもに連れられ皆さんお寺に初参りです。手にお念珠を持っています。一緒に手を合わせ南無阿弥陀仏とお念仏申してご本尊の阿弥陀如来さまにお礼をします。今まで中々できなかったことが、子どもさんの初参式でいっぺんにできました。

この私が偉くて御仏前に座ることができたのであります。子どもが手を合わせお念仏申しお礼をする私にしてくださいということ。

阿弥陀さまが先手のこの私の救いです。「まかせよ必ず救う」とあきることなく喚びつめに喚び続けてくださった阿弥陀さまのおはたらきをそのままいただいて、子どもさんと一緒にいよいよお念仏申す日暮しをおくってほしいと思います。

# 戦後七十年、世々生々、お念仏申す

## 「世のなか安穩なれ 仏法ひろまれ」

今年(戦後七十年)節目の年という事で新聞テレビ等で特集記事や番組が多くみられます。

先の大戦を体験された人たちが、今語り始めています。ずっと胸の底に仕舞い込んでいた思いを一気に吐き出すように80代90代の方々がこれだけは伝えておきたいことを、この時にです。愛する家族を戦地に送り亡くされた方、空襲で家を大切な人を失った方、戦地で銃剣をもち故郷に帰った方、戦後長くシベリアに抑留された方、異口同音に「戦争は絶対いけない」「戦争に正し



水曜学校の子どもたち、円成会の皆さんと一緒に、3歳から90歳まで世代を超え思いを込めて、七夕飾りをつくりました(7月1日)

い戦争はない」と言われます。

戦時下の日本では決して言えないことでした。重苦しい統制下の状況に皆がいました。

その当時のお寺を想います。お寺もまた戦争遂行の役割を担ってきました。祖父母(前々住職坊守)はどんな思いでお寺をまもってきたのでしょうか、戦死された方のお葬式をお勤めしたのでしょうか、ご門徒に何を言ってきたのでしょうか。

戦前も戦中も戦後もずっとお念仏のみ教えは変わりません。しかしお念仏申す人は少なくなりました。戦後何不自由なく仏法を語り聞くことができるようになったにもかかわらずです。戦後復興、高度経済成長のな

かお寺の建物も立派になりました。しかし本当にお寺としての役割を僧侶の使命を果たしてきたのか、今厳しく問われます。少子高齢化が進み核家族でお

仏壇のない家で育つ子どもが多くなりました。地方の人口減少過疎化はお寺を支える基盤を根底から揺るがし、解散するお寺が年々増えています。これから一体お寺はどうなるのか。これまで何度も指摘されたお寺の存続の危機に、これといった手だても工夫もないまま、今お葬式の形態が大きく変わり仏壇やお墓をまもる人がいなくなる状況が一気に押し寄せてきています。

そして今、七十年間ずっと戦争がない「戦後」が続く私たちの国のあり方が大きく変わろうとしています。国会で安保法制の審議が進み、戦争放棄をうたう日本国憲法を改定するのではなく、解釈改憲で海外での武力行

### 大分まちなかお寺フォーラム

テーマ 「これからの浄土真宗 私たちのお寺の可能性」

みんなで考えましょう。語りましょう。そして始めましょう。

- ゲスト 西光義秀さん(奈良県萬行寺住職、元九州龍谷短期大学教授)
- とき 8月19日(水) 午後2時～5時 ※入場無料です
- ところ 大分市コンパルホール(三〇九会議室)

使の道を開こうとしています。

南無阿弥陀仏とお念仏申す。お念仏は国家や民族、時代を超えてすべてのものを必ず救う阿弥陀如来のご本願のおはたらきです。お念仏の心にかなう生活ができていくのか問われます。戦後七十年、先人の思いを忘れることなく、社会に開かれたお寺をめざして、お念仏に生きる者のつとめを今こそ果たしていきましょう。

### おでかけ法話会を 始めました

四月に大分駅ビルと県立美術館が相次いでオープンし、大分の町中が一段とにぎやかになりました。人の流れが集中するこのチャンスに法話会を思いつき、四月から毎月第三水曜日の午前(10時20分～11時40分)に大分市コンパルホールで「ようこそアミダどもの会」を開いています。

ご本尊の阿弥陀如来さまをお供して、いつものお寺とは違う雰囲気の中で仏さまのお話を聞かせていただきます。家族や友だちと一緒に食事やショッピングを楽しむ機会に、法話会にお出かけしませんか。どなたでもどうぞ気軽にお越しください。お待ちしております。

お朝事『法話』より

私たちの仏道実践

昨日は仏教壮年会の皆さんに中庭と境内のソテツやサツキ、モチの木などの剪定をしていただきました。去年のこの時期以来でおかげさまで中庭や境内がすっきりときれいになりました。木々の散髪です。散髪すると気分がリフレッシュしますね。

心機一転、また頑張ろうと気持ちが入ります。人生の節目、生活の折々に、散髪に行く人も多いのではないのでしょうか。

お坊さんになる出家得度の式に剃髪があります。私も一度髪を剃りましたが、ご門徒皆さんは帰敬式、おかみそりという式を受けて法名をいただきます。仏弟子になるという大切な式で、本来は剃髪をするとうことで、すが、実際は髪に剃刀を当てて剃髪の真似事をします。

出家は捨家というって、家そのものを捨てるという意味があります。親子、兄弟、夫婦の縁を切る。仕事や財産、地位や名誉といった自分の持ちものすべてを捨てる。それこそ丸裸になつて、仏道修行の道に入るのです。



作業を黙々と分担して経験をかして、(6月28日) 皆を進めさせます。

捨てないと仏道修行はできません。修行しながら、家族のことを思い、家に残してきた貯金通帳を心配していたら修行どころではありません。それほどまでに仏道修行は厳しいのです。浄土真宗はことさら修行というのをいいません。家に在って家族と生活を共にし修行の一つもできない私たちです。私が私ごとを中心にして苦惱の人生を歩む救われようのない私をご覧になった阿弥陀さまは、「すべてを分け隔てなく必ず救う」という本願を建て長い間修行を積み重ね、私が救われる全ての手立てを南無阿弥陀仏のお名号に仕上げ、お念仏申してくれよお念仏の心聞いてくれよとおはたらきなのです。浄土真宗の仏道は本願念仏の

ご案内

- ◆ 常例法座 7月16日(木) 10:00~11:30
◆ 子ども会サマースクール 7月31日(金)~8月1日(土)
◆ 初盆会・盆おどり大会 8月12日(水) 19:00~21:00
◆ 全戦没者追悼法要 (平和を願う鐘つき) 8月15日(土) 11:00~12:00
◆ 秋季彼岸会法要 9月22日(火) 11:00~15:00 同 19:30~21:00 9月23日(水) 13:30~15:00
◆ 敬老会 10月1日(木) 11:00~13:00
◆ 常例法座 10月16日(金) 10:00~11:30

“月に一度はお寺参りしましょう”

※詳しくは「寺通信」でご確認ください。

仏道です。誰でもないこの私のために阿弥陀さまが開いてくださった「私の歩む道」なのです。この仏道実践こそがお念仏申す生活です。南無阿弥陀仏とお念仏申す。南無阿弥陀仏とお念仏が聞こえてきます。「我にまかせよ必ず救う」の阿弥陀さまのお喚び声です。私が私ごとと心も体も頑なに小さな世界に閉じこもり頑張つて生きてる私に、大きな広い世界に生まれて来いよと喚びづめに喚んでくださる阿弥陀さまのお心を聞かせていただき、私にできる精いっぱいのことを見せていただく御恩報謝のお念仏申す生活です。昨日も13人の仏壯の方が朝早くからお寺に集まり作業をしてくださいました。本当に有難い



お寺を思う気持ちいっぱい行動で。皆さんお疲れさまでした (6月28日)

ことです。私にできる精いっぱいのお手伝いをさせていただき、私たちがお寺・円光寺がきれいになって、ご門徒有縁の皆さんを気持ちよくお迎えして、いよいよ念仏の道場、聞法の道場になつていきたいと思います。(6月29日)

# しだれ桜の古里を訪ねました



大きな浄専寺様のしだれ桜の前で  
お念仏の花が咲きました  
(3月31日)

3月31日(火)に仏教婦人会の日帰り旅行で宮崎県五ヶ瀬町の浄専寺様(寺本俊文御住職)にお参りさせて頂いていただきました。38名が参加。大きなしだれ桜の名所で、19年前に昭然前住職がご門徒皆さんとお参りし「しだれ桜」の苗木を持ち帰り、今、円光寺の境内に植わっています。今年が開花が遅くて満開の桜を見ることはできませんでしたが、あたたかいお接待をいただいて楽しいご縁になりました。

# お寺の本堂で結婚式をしました

5月16日(土)に坂本優作さんと円さんの仏前結婚式を行いました。新郎が大智新院の同級生という縁で、当日は新郎新婦両家の親族、新郎の友人がたくさん参列されました。お寺で結婚式ってイメージがわかないと思いますが、ご本尊の阿弥陀如来さまの御尊前で夫婦として新たな門出を誓い合う慶びの仏事です。仏前結婚式の準備も整っています。有縁の皆さん、お寺で結婚式を挙げませんか。気軽に相談ください。



仏前結婚式のようす  
司婚者の晃照住職(左)と新郎新婦  
(5月16日)

## 花まつり白象パレード



白象にお釈迦さまの誕生仏をご安置した花御堂をのせてお寺の周辺をパレードしました  
(4月5日)

## 親鸞聖人降誕会法要



ほれほれと仏法聴聞  
白川義孝師(福岡県正善寺御住職)  
(5月17日)



境内いっぱい人があふれにぎやかな降誕会バザーのようす  
(5月17日)

## 新一年生を祝う会



花まつり特設花御堂の前で(4月5日)  
(左から)児島りこさん、三浦みさきさん  
池邊かなでさん、疋田りょうたさん  
矢野しゅんたさん、後藤みはやさん

## あ と が き

久しぶりに奈良に行き大学時代の先輩に会った。年賀状に一反半の畑に野菜や果物を作ってレストランに出荷したり、幼稚園や中学校でボランティアをしているとあり、訪ねた。日々の活動の場に案内してもらった。行く先々の人たちと笑顔で声をかけ合う姿に何か嬉しくなった。知らない土地に移り住み地域に溶け込み人間関係を育んで子どもたちからも慕われる。人のつながりが薄くなったと言われる現代、心豊かな人生模様を見せていただき心から感謝です。